

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	25	事業名	巡回バス運行事業	担当部課	くらし文化部安心安全課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	無		2-1-12 巡回バス運営費	
	事業開始の背景、経緯等	平成9年の住民意識調査において、住民ニーズの最も高い項目として「公共交通機関の整備や利用」が挙げられるなど、公共交通の整備・充実が多くの方の市民の要望であることがわかった。このため、当時、先進自治体でその活用が模索され始めた“巡回バス”や“コミュニティバス”に着目し、新たな市民のニーズに合わせた検討を始めた。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内循環バス「N-バス」として、小型バス5台、ワンボックスバス1台を運用し、7ルート、67便/日、年間362日(年末試行運転含む)の運行を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 巡回バス利用者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・市内交通空白地帯の解消 ・公共施設の利便性の向上 ・子育て支援 ・高齢者や子ども等交通弱者の社会参加の促進				

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)
	事業費(A)	千円	予算	112,657	114,275	118,454	121,916	129,938
			決算	109,886	111,899	114,816	120,004	
	人件費(B)	千円	決算	5,347	5,558	5,564	5,271	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	115,233	117,457	120,380	125,275	
	事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	千人			244	262	261	225
対象あたりコスト(C/D)	千円			472	448	461	557	

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)
	乗車人数	千人	目標	—	—	265	261	225
			実績	244	262	261	225	
	(指標の設定根拠)				(数値目標の根拠)			
N-バス事業として、乗車人数の向上を目指しているため。				前年度乗車人数と、同数値程度を目標とした。				
(前年までと変更した場合はその理由)								

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、乗車人数が大きく減少した。				
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和元年度末において、新型コロナウイルス感染症対策として、換気等を行い運行を行った。				
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) イケア、イオンの開業や交通集中により夕方や週末に遅延が発生している。				

事業を構成する事務事業①	事務事業①	巡回バス運行事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績						
	(2) 【アクションプラン】 N-バス利用者数【単年】	人	見込 実績	261,000 225,000	225,000	251,000	261,000	271,000	
	(3)		見込 実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 令和3年4月のN-バス再編に向けて方針案の作成を行った。							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	事務事業②								
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込 実績						
	(3)		見込 実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	事務事業③								
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込 実績						
	(3)		見込 実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 引き続き市民の声を聞きながら、運行の継続を図っていく。				
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和3年4月に再編を行い、市民からのニーズに応えた路線及びダイヤに変更を行う。また、運賃についても見直し、現在無料である65歳以上の人を有料化し、収支の改善を図る予定である。				

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・料金体系の見直しを含む再編や他の公共交通との連携について、地域公共交通施策全体を考慮し、引き続き取り組んでください。 ・総合計画、中期財政計画及び行政改革指針を踏まえ、また行政改革の重要課題事業に基づき、受益者負担の見直し、一般財源の抑制が図られるよう引き続き取り組んでください。				
内部意見への回答						